



# 松本市図書館だより

令和元年12月1日発行 第78号

編集・発行 松本市  
中央図書館  
〒390-0861  
松本市蟻ヶ崎 2-4-40  
電話/0263(32)0099

## 12月の行事を知ろう!

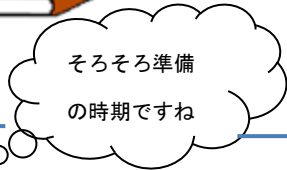


### 冬至って?

一年で夜の時間が一番長く、昼の時間が一番短くなる日です。冬至が過ぎると少しずつ昼が長くなっていきます。

冬至の日にはお風呂にゆずをうかべたゆず湯に入る習慣があります。ひびやかかぎれを抑え、血行を促進して体をあたためる効果があると言われています。また、かぼちゃやあずきの料理を食べたり「ん」のつくものを食べると縁起が良いと言われています。寒い冬は暖かいお風呂で温まり、栄養のあるものを食べて乗り切りましょう!

参考:「くらしの歳時記」古川 朋子/監修 主婦の友社



そろそろ準備の時期ですね

### 年賀状って?

もともとはお正月にあいさつに出かける習慣があり、最初は1月2日に書き初めを送っていました。

郵便が広がった明治時代に年賀状を送り挨拶にかえるようになりました。年賀状は1月7日までに相手に届くように送ります。

1月1日に届くようにするには12月25日頃ポストに入れましょう。

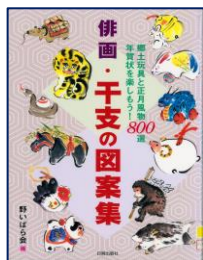
最近はLine やメールで済ませて書かなくなったという方も、今年は何賀状を書いてみませんか?

参考:「12か月の絵図鑑」長谷川 康男/監修 PHP 研究所

### 俳画・干支の図案集

日貿出版社/編 日貿出版社

十二支、正月の風物、郷土玩具など、800点のハガキ作品と図案を掲載。その他正月の季語に因む俳句やさまざまな賀詞、俳画で描く年賀画状なども収録しています。



### めざせ年賀状の達人

吉澤 鐵之/著 二玄社

年賀状らしい88語の吉祥語を、篆隸楷行草で書き分けて紹介した書例集です。それぞれの語の意味の解説、添え書き書例を紹介していますのでお気に入りが見つかるかも。



## ～お知らせ～

### 年末年始の休館について

**12月29日(日)から1月3日(金)**まで全館休館となります。

休館中に資料を返却される場合は各図書館のブックポストへご返却ください。※あがたの森図書館はブックポストがありません。

※視聴覚資料や紙芝居は壊れやすくなっておりますので閉館後に各図書館のカウンターへご返却ください。また休館に伴い12月15日(日)から資料の貸出期間が延長されます。詳細は各館にお問い合わせいただくか図書館ホームページをご確認ください。



**1月4日(土)と1月5日(日)**の2日間松本市内の11館で開催!

両日ともに数に限りがあり無くなり次第終了です。

図書館職員が様々なテーマで選んだ本を福袋にして貸出します。各福袋のタイトルをヒントにお選びください。中身は開けてからの楽しみ!!

普段あまり手に取らない本にも興味を持ってもらい、新しい分野の本を読むきっかけを作れたら幸いです。

貸出は一人様1袋(3冊分の貸出)までです。

貸出時はカウンターまでお持ちください。



### ～動物絵本作家・動物画家 藪内正幸さんの世界～ 好きこそものの上手なれ

日時: 1月19日(日) 13時30分～15時30分

場所: なんなんひろば 3階大会議室

定員: 80名 申し込み不要・入場無料

講師: 藪内正幸美術館 館長 藪内竜太氏

#### ミニ原画展開催

講演に合わせて中央図書館ロビーにて藪内正幸氏の原画展示を12月24日(火)から1月18日(土)まで行います。

関連する本も用意しておりますので是非ご来館ください。

問い合わせ先 中央図書館 ☎32-0099





# 新刊のご案内



「食べた！見た！死にかけた！」「運び屋女子」一人旅 片岡 恭子/著 講談社

【290カ 所蔵館：本郷 寿台】

合法の運び屋なんていう都市伝説みたいな商売がこの世に存在するのだ。急ぎのブツを運ぶため国から国へと飛び回るハンドキャリア（国際宅配便屋）として51か国を訪問した著者だからこそ語れる良い国ダメな国、普通じゃ味わえないスリリングな体験からお得な情報まで、読めば現地の事情通になれてしまうかもしれない一冊です。

『災害時でもおいしく食べたい！ 簡単「みそ汁」＆「スープ」レシピ』 今泉 マユ子/著 清流出版

【369イ 所蔵館：中央 南部 寿台 空港】

あったら嬉しい温かいスープのレシピ本。お家で備蓄している物やちょっとした調味料で、食材を切ったり調理器具を洗う手間を減らして美味しく。もしもの時に備えて普段からできるようにしよう。

本の最後にはレシピだけでなく、どんな物を備蓄したら良いのか、あると便利な物なども書かれています。



## 予約本ベスト5

令和元年10月15日～

令和元年11月15日受付

### 一般書

- 1位 『祝祭と予感(祝祭と掃苔)』 恩田 陸/著、幻冬舎
- 2位 『ツナグ(想い人の心得)』 辻村 深月/著、新潮社
- 3位 『背中蜘蛛』 誉田 哲也/著、双葉社
- 4位 『ライオンのおやつ』 小川 糸/著、ポプラ社
- 5位 『落日』 湊 かなえ/著、角川春樹事務所

### 児童書

- 1位 『おしりたんていシリーズ』 トロル/さく・え、ポプラ社
- 2位 『こども六法』 山崎 聡一郎/著、弘文堂
- 『どんぐりころちゃん』 みなみじゅんこ/作、アリス館
- 4位 『ころべばいいのに』 ヨシタケ シンスケ/作、ブロンズ新社
- 『四つ子ぐらし 4』 ひの ひまり/作、KADOKAWA

## 図書館に聞いてみよう！

【今月の事例】クリスマスカラーの赤と緑の意味は？

A ア『クリスマスの文化史』

(若林 ひとみ/著 2004年/白水社)

イ『アメリカ風俗・慣習・伝統事典』

(タッド・トレジャ/著 1992年/北星堂書店)

クリスマス時期に最も目立つ赤と緑の配色は、昔のブリトン人やローマ人の西洋ヒイラギの人気を反映しています。

赤は、生命を表しています。また、キリストの血を表すとも言われています。

緑は、果実をつける植物を災いから守る意味を持ちます。また、緑は三位一体の色であり、キリストと信者との相互の忠誠心や希望と喜びを表しています。

赤と緑のほかにも、白や金色もクリスマスを象徴する色とされることが多いそうです。

白は純潔・完全性・絶対性を意味し、

カトリック教会ほか各教会において降誕節の典礼色です。

金色は、光や富、希望を表しています。



図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

FMまつもと 今月の出演

12月12日(木) 12:30～  
チャンネル：79.1MHz

※放送日等変更になる可能性もあるのでご了承ください。



f フェイスブックやっています

松本市図書館 アルプスの山々



フェイスブック QRコード